



今回は特別にこのMR2の他にもう一台、180SXをベースにした峰仕様の入門編ともいえるチューニングをご紹介しましょう。

MR2の場合は、峰での速さを求めたチューニングだったが、この180SXのチューニングは、その走りを楽しむのが目的

だ。そのため、ムダなどじるに一切お金は掛けっていない、必要なバーツだけを装着しているのだ。

その、必要なバーツとは五次元ボーダー60φマフラーとGAB-Bストリート4段調整ショック、F3・2kg/mm、R2・5kg/mmの強化スプリングの3点だ。実際、峰ではこんなチューニングをしている人のほうが多いんじゃないかな。ただ単にテクニカルで十分だ。やみくもにお金を使つてチューンすればいいともんじゃない。

そういう意味で、この180SXのチューニングは、これから峰に通おうと考えている人に使ってほしい見本なんじゃないかな。

## 180SX峰チューン

トライアルマフラーで排気系をリファイン。



タイヤはピレリーピ700Z、ホイールはdbを装着している。



F-100Nによるセッティングは、レボンスに重点を置いた。

の伸び側の減衰力を高めにセッ

トし、それに合わせる形でのス

プリングを組むことで、弱アン

ダーでブレイクしにくい粘り強

い足にしているそうだ。

また、オリジナルショックのベースにビルシュタインを使用しているため、ヘタリに関して他のショックに比べ、高い耐久性を発揮してくれるという点も見逃せないポイントのひとつだ。

現段階でのメニューはここまで、今後はarcバイブスタビによって直進安定性と共に、ロールをもうちょっと抑える方向でセッティングしなおし、かつ車体剛性に関しても弱い車なのでタワーバーなどで改善させ、シャープに切れ込むカチツとした車に仕上げていく予定だそうだ。